

消化器科 専門医に聞く

富山労災病院

消化器科部長

あたらし よしなり
新敷 吉成

— からだにやさしい肝がんの診療 —



今回は、肝がん（肝細胞がん）の診療について紹介させていただきます。がんの診療では早期発見・早期治療が重要です。肝がんはなりやすい対象がはっきりしています。B型肝炎またはC型肝炎に感染している場合が全体の90%を占めています。B型肝炎ウイルス保因者は非保因者の223倍の発がんの危険性があるといわれており、肝機能に異常のない健康保因者でも発がんの危険性があります。C型肝炎では慢性肝炎、肝硬変と病気の進行にともない発がんの危険性が高くなります。C型肝炎では1年間に8%が発がんするといわれています。

これらのがんができる危険性の高い患者さんでは、肝がんをより早い段階で発見するために、定期的に通院していただき、血液検査（腫瘍マーカー検査）や超音波検査またはCT検査行うことが重要です。

肝がんの治療は肝切除、ラジオ波焼灼療法（針を肝臓に刺してがんを焼く治療）、肝動脈塞栓療法（がんを栄養している動脈を詰めてしまう治療）が3本柱です。肝切除は最も確実な方法ですが、肝がんは根治後の再発が多い特徴があるため、繰り返して行えるラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓療法が有効です。ラジオ波焼灼療法（クールチップシステム）は1回の焼灼時間は6～12分で直径3cmのほぼ球形の範囲に治療の効果が得られます。

肝動脈塞栓療法は、腫瘍径の大きなものや個数の多い場合も行えます。これらの治療は患者さんにとっても手術に比べて負担が少ない方法といえます。肝がんの発がん予防として有効な治療としては、C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法によるウイルス駆除、グリチルリチン製剤の静脈注射、B型慢性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療があげられます。肝炎ウイルス検査は厚生センターや委託された医療機関で無料で受けられます。肝炎治療に対する医療費助成制度も継続されています。肝炎ウイルス感染について不安をお持ちの方は最寄りの医療機関にご相談ください。

ご質問やご相談は地域医療連携室まで、また富山労災病院ホームページもご覧ください。

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構
富山労災病院 地域医療連携室
〒937-0042 魚津市六郎丸992

Tel: 0765-22-1354

Fax: 0120-935-631 (フリーダイヤル)

富山労災病院 救急外来からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。

受診される場合22-1280までお電話下さい。